

# 水道料金の大幅値上げ、給水停止は578件!!

## これでは市民のいのちと生活は守れません



昨年度の上下水道や市立病院、港湾などの企業会計を審査する特別委員会に参加した村上かずしげ議員。  
水道では、大幅値上げの市民生活への影響と水道料金を滞納した場合の給水停止の問題を中心に、市の姿勢を問いました。  
地方自治体の本旨は「住民の福祉の増進」です。しかし、今の水道行政には大きな問題があります。

下の表が、30年度に値上げされた水道料金です。高齢者の一人暮らしなら、年間2436円、4人家族なら7122円も値上げになりました。払えない人も増えたのかもしれない。水道料金の滞納額は29年度と比べ、実に7千万円も増えました。一方、どうしても水道料金が払えないと、市「給水停止」(水道水が出ないようにしてしまう)の処分を行っています。30年度は一年間で578件の水道を止めました。「水道を止められたら生きていけない」と498件は一部を支払うなどして開栓してもらいましたが、結局80件ほどは水道を止めたままです。ほとんどのケースが、そこで暮らして、水道メーターも動いている家です。もちろん、滞納していて一切、連絡もしないという問題はあります。しかし、多重債務や失業で、支払えと言われても支払えない人は、おいそれと連絡もできません。水道を止めたら、取り返しつかない重大事故が起きないとも限りません。空き家などのケースを除いて、生活実態のある家庭の給水停止はすべきではありません。

### 港湾の販売用造成地は深刻

#### 西港の土地は？

西港には、港湾の整備費を賄うための販売用造成地があります。第四ふ頭の供用開始からすでに相当の年月が経ちますが、売れ残っている土地がかなりあります。売れていない土地は貸付をして収益を上げようとはしていますが、貸付もできていない土地もあります。「未利用地」は7万7千平方メートルもあるのです。また、貸付地といっても、国が港湾整備工事のために借りている土地もかなりあり、まるで「タコが自分の足を食べている」みたいな

#### 貯木場はどうなる

さらに頭の痛いのは、釧路町のセチリ太の貯木場の埋め立て地です。販売を目的としています。そのためには、商業用地なりに土地の用途を変更しなくてはなりません。全く見通しがありません。釧路町との合意も得られず、認可すべし北海道からも、人口が減るのに市街地を増やしてどうするのですか？と、攻められる始末です。

ことになっていきます。過大投資のツケがはつきり表れています。



家事用水道料金比較(2か月料金)

	単位:円			
	高齢者単身世帯	高齢者2人世帯	夫婦2人世帯	夫婦と小学生2人4人世帯
平均使用水量(2か月平均)	9m <sup>3</sup>	18m <sup>3</sup>	23m <sup>3</sup>	37m <sup>3</sup>
平成30年度	⊕17.0% 2,788	⊕20.5% 3,279	⊕20.3% 4,292	⊕20.0% 7,129
平成29年度	● 2,382	● 2,721	● 3,568	● 5,942
増加額(2か月分)	406	558	724	1,187
増加額(年間分)	2,436	3,348	4,344	7,122

※ 平均使用水量は、各世帯区分における使用水量の平均値として算出しております。



村上かずしげ通信 10.6